



紙 関 機 ぱるタイム

第173号

2020.5.25
(月1回発行)

<https://www.palcoop.or.jp/>

生活協同組合おおさかパルコープ ■ 組合員総数：443,498人 ■ 出資金：195億9,071万円 (4月20日現在)

組合員のみなさん、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されてから、学校の臨時休校や外出自粛など不安の中でお過ごしのことと思います。パルコープは商品の安定供給に努めます。今号の機関紙ぱるタイムは、共同購入（配送現場・物流センター）や店舗のとりくみの様子を一部紹介いたします。

共同購入



4月3回企画回の冷蔵・冷凍商品は、物流センターが始まって以来最大の点数に。作業の安定をめざし、冷凍ラインの稼働増など対応



配送時には、マスクの着用はもちろんのこと、安心して商品をお届けできるよう、除菌アルコールスプレーを配送担当者が携帯して使用



朝礼を換気の良い倉庫で行うなど、職員を分散し、密集を回避

店 舗



店舗では、少しでも安心して来店していただけるよう、感染予防対策を最優先に

(上) レジ・サービスカウンターの飛沫防止シート

(下) レジに並んでいただく際の待機スペース



この間の新型コロナウイルスに関するお詫びとご協力のお願い

おおさかパルコープ 理事長 所 清司

緊急事態宣言の影響により、商品のお届けや店舗販売で供給中止・1点制限など、組合員のみなさまには、大変ご不便をおかけしています。また、配送や店舗での担当者へ多くの励ましをいただき、ありがとうございます。感染不安の中、担当者は不可欠な食の供給に使命感を持ち、感染予防を持って進めています。組合員さんには、マスクの着用など、ご協力をお願いいたします。組合員さんの生協へのご注文に応えきれていないことをお詫びいたします。今は、安全な運転と物流・配送を構築し、ご不便を縮小することに全力をあげます。

新型コロナウイルス感染の中、医療従事者のみなさんが、治療と感染拡大防止の最前線に立ち続けてくれています。本当にありがとうございます。また、学校の休校が続く中、子どもたちの居場所づくりや食の支援に奮闘されている地域子ども食堂さん、心より敬意を表します。パルコープでは、医療従事者の方、子ども食堂さんへの支援募金にとりくみます。

これまでの貧困と格差の拡大、地球温暖化、公衆衛生など、利益を第一とする、政策から転換すべきことは、未曾有の感染と、続く経済危機が指し示していると感じています。生協に働く職員の健康を守ることを第一にしてこそ、生活の基礎の衣食住、その食を組合員さんに安定してお届けすることに、全力を尽くします。

ご協力、お願いします!!

新型コロナウイルス感染症対策緊急支援募金

新型コロナウイルスによる感染は、まだまだ先行きが不透明な状況です。現在、医療の現場は、新型コロナウイルス感染症予防の防御服やマスクが不足する中、医療や療養等に当たる医療従事者の皆さんは昼夜を問わず、自分の感染リスクへの不安を抱えながら、ぎりぎりの状況で業務を行なっています。また、緊急事態宣言のもとで7割の子ども食堂さんが休止する中、子どもの居場所の確保と食の支援活動で、3割の地域の子ども食堂さんが奮闘されています。

パルコープとして新型コロナウイルス感染症対策の支援募金にとりくみます。ご支援、ご協力をお願いいたします。

・募金の受付期間 2020年5月25日(月)から7月末まで

〈募金の使い道〉 組合員さんからいただいた募金は、以下の内容で活用します。

- 〈1〉 府内の感染症指定医療機関と感染者専門病院〈大阪市立十三市民病院、阪和第二病院〉、日本赤十字社大阪府支部、および大阪府下の医療生協関係への寄付
- 〈2〉 「大阪府新型コロナウイルス助け合い基金」への寄付
- 〈3〉 緊急事態宣言の下で活動継続中のパルコープと提携する子ども食堂（及びシングルマザー支援団体）



写真(左)：時事



緊急事態宣言のもと活動を続ける「にしなり☆子ども食堂」さん、お弁当を配布する「しま☆ルーム」さん

※くわしくは今週配布している別チラシをご覧ください

募金の方法

